

学校通信



喜多見



No.9 令和8年1月27日

喜多見の学び舎

世田谷区立喜多見中学校

校長 紺谷 祥一

〒157-0067 東京都世田谷区喜多見4丁目20番1号 TEL 03-3417-4971(代)
E-mail: dai131@setagaya.ed.jp <http://school.setagaya.ed.jp/tkitami/>

3校に1つの学校に通うプライド

校長 紺谷 祥一

12月と1月には、毎年三年生を対象に高校受験用の面接練習を行います。今冬も、のべ21日間をかけてほぼ全員と一対一で実施することができました。当該高校を志望する理由や抱負をはじめ、中学校での頑張りなど様々な角度から質問します。総じて上手に答える子が多いなか、少し難しい質問も交えます

—『喜多見中学校はどんな学校ですか?』。自分自身や自分の所属する組織等について、一步引いて客観的に捉えられる力(メタ認知)は最近よく注目されるところです。—『はい、ほとんどが同じ小学校の出身のせいか、みんな気心知れ、仲が良く、明るく楽しい学校です!』。当の校長としては嬉しいところですが、ここは顔色の変わらせるのをグッとこらえて続けます。—『そうですか。では、何か課題はありませんか?』。すると、『はい、団体戦には強いんですけど、個人戦に弱いところがあって…。いったん盛り上がったりすると、なかなかけじめが付けられなくなったり…、授業中にタブレットの使い方が悪い人が時々注意されたりします…』と、答える子は少なくありません。

掲載のグラフは、去る12月2日(火)に開催された全都校長会における資料の切り抜きです。本紙でもたびたび本校における「タブレット文房具化」に関する取り組みをお伝えしているところですが、本校と同様に「生徒が必要なときに生徒の判断で自由に使用できる」学校の割合は都内で35.8%であることが判明しました。このデータを早速先月の朝礼で子どもたちと共有したところ、意外と少ないと感じる生徒が多い様子でした。3校に1つの学校に通っているという“プライド”を大切にし、しっかりと活用して欲しいと思っています。

インターネットやスマートフォンは、子どもたちの生活の中でも欠かせない存在です。授業でも調べ学習に利用したり、部活動の連絡を受け取ったり、友人との交流はもちろん、趣味に関する情報を集めたりと、デジタル技術は子どもたちに大きな可能性を広げています。その一方で、動画、ゲーム、SNSなど、つい長時間没頭してしまう“誘惑”にもなり得る「もろ刃の剣」もあります。誘惑と上手に向き合い、使い方を調整できる力は、DQ(Digital Intelligence: デジタル知性)の基礎。しかし、一概に誘惑は「意志の弱さの裏返し」と一言で片づけるわけにもいきません。動画アプリやSNSは、次から次へと興味を引くように組み込まれており、集中力が続く脳の性質を利用する形で作られていると言われているからです。大人でもハマる仕掛けに対し、本当に子どもたちに必要なのは環境の整備かと思っています。例えば、ご家庭でできる工夫として次のようなものがあります。

★使う前に「時間の上限」と一緒に決める ※併せて、見たくなる時間帯や場面と一緒に振り返ると効果的です!

「終わりの時間を決めてから使う」という習慣は、子どもが自分でコントロールする練習になります。「あと5分だけ」が続くよりも、最初にルールを親子で共有する方が無理なく続けます。

★スマホを“視野から遠ざける”環境づくりをする ※面接練習で、この実践を語る3年生がたくさんいました!

人は見えるものに注意が向くと言われています。勉強中や就寝前にはリビングに置く、充電場所を決めるなど、物理的な工夫が誘惑を減らす大きな力になります。

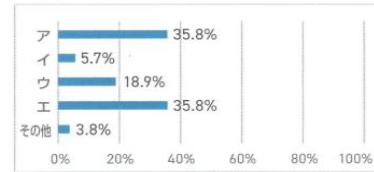
★トラブルや失敗も「学びの機会」として話し合う ※折に触れて、「振り返る」ステップが大切です!

使いすぎてしまった日があっても、責めるのではなく、「どうしてできなかったのか」「次はどうしようか」と一緒に考える姿勢が、「自己調整力」を育てます。○子どもたちは、デジタル社会のど真ん中を生きています!

校内暴力の動画に関するニュースが年始から大きく問題になっています。上記のような取り組みは、単に「スマートを控える」ためだけではありません。誘惑に負けず、自分の行動を選び取れる力は、学習への取り組み方、人間関係の築き方、将来の仕事の仕方にもつながる、とても重要な力です。本校では情報モラル教育を進め、デジタルとの向き合い方について指導を行いますが、日常生活の大部分を過ごす家庭の役割は大変大きなものです。学校と家庭が連携し、子どもたちが安心してデジタル社会を歩んでいけるよう、今後も支援を続けてまいります。

(4) 自校において、授業中に一人1台端末を、どのように使用させていますか。

- ア 生徒が必要なときに生徒の判断で自由に使用できる
- イ 合理的配慮の申請等があれば生徒の判断で自由に使用できる
- ウ 申請等がなくとも生徒が必要なとき(合理的配慮を含む)に教員に断れば使用できる
- エ 教員の指示があったときに使用できる
- オ その他



出典: 都内公立中学校 608校の回答 (都校長会 R7 研究紀要)

各学年およびE組の生徒たちの活動の様子をお伝えします

1年生の様子から（小柴なぎさ）

1月の日本語の授業では、「盆石」について学習をしました。1年B組の滝本 さんの保護者を講師としてお招きし、ご指導をいただきました。講話を聴き、実演をするときには砂を飛ばさないように静かに集中して取り組んでいる姿が印象的でした。「日本の伝統芸能家の凄さや技巧の強さを感じて、日本の伝統文化についてもっと知りたいと思いました」や「講師の方々が丁寧な説明と実演をしてくれて、実際に教えてもらいながら体験もできて盆石の楽しさや歴史を学ぶことができました」など、生徒にとってよい経験になったと感じます。



そして、国語の授業では、歴史的仮名遣いに親しみ、古典知識の理解を深めるとともに、日本の伝統や文化を通して、国語への関心を高める目的として「百人一首」を学びました。昼休みの時間には、上の句を覚えるために友達と問題を出し合ったり、和歌を口ずさんだりする様子が見られ、1枚でも多く札を取ろうと一生懸命に取り組んでいました。世田谷区では「日本語」の教科として、日本の伝統・文化を深める時間がありますが、1月に行った学習はまさに日本の伝統的な技術や遊びに触れる良い時間となったと思います。

2年生の様子から（中溝亜矢実）



1月16日（金）は「和衷協同～修学旅行に向けて、マナーを身に付けよう～」をスローガンに、校外学習「都内巡り」を行いました。朝のチェックポイント喜多見駅を出発し、自分たちの力で1日班行動です。実行委員を中心に事前準備を進めてきましたが、当日何があるかわからないのが校外学習。報道もされていましたが、朝からJR山手線と京浜東北線は停電のため運転見合わせ、小田急や地下鉄にも影響があり、遅延や通常より多い乗客で車内は大変混んでいる状況でした。それでも班の仲間たちで協力し、柔軟に考え、判断しながら計画を進めることができました。チェックポイントでは「東京人多いし、広すぎ！もう歩けない！」と嘆きつつも、時間を意識して「時間ないよ！急がないと！」とお互いに励まし合い、次の目的地に足を進めていました。大きな怪我や事故もなく、全員が無事に帰ってこられたのは皆さん之力だと思います。それぞれが自分の係、役割を考え、スローガンを意識できた1日になったのではないでしょうか。

大切なのは今回の経験を振り返ること。できたことを自信に、また失敗してしまったことを忘れずに、どんな準備をすれば安心して8か月後の修学旅行に臨めるのか、今一度振り返ってみましょう。

3年生の様子から（漆沢伸一）

自分の進路を
つかみ取る

3学期に入り、いよいよ入試が始まります。1月22日の私立高校の推薦入試を皮切りに、1月26・27日は都立高校の推薦入試が行われます。2月10日には私立高校の一般入試が始まり、2月21日の都立高校の一般入試まで続いていきます。

3年生の日々の様子を見ても緊張感が伝わってきます。入試は待ってくれないし、入試までのことを考えると不安になるのは仕方がないことです。時間は無限にあるわけではありません。けれども時間が無限にあったところで、受験勉強をずっと続けることは無理があります。やはり、終わりがあるから頑張れるのだと思います。だからこそ、その限られた時間をどう使っていかが大切になってくると思います。ぜひ考え方を変換して、少しでも前向きに入試に取り組んでみてください。

3年生の一人一人が、自分の力で自分の進路をつかみ取ることを、喜多見中学校の全員が心より願っています。

E組の様子から（番場智幸）

3年生の担任ということもあり、最近よく考えることが“上手くいく”とはなんだろう。ということです。志望校に合格したから上手くいったのか。そうでなかった人は上手くいかなかったのか。私はそうではないと思います。上手くいったか否かは、他人でも志望校の合否ではなく自分自身が決めることだと信じています。“上手”という言葉を調べると、人よりもさらに優れていることとあります。この意味のようになんか上手くいかないなと思うときは大抵誰かと比べてしまっているのではないでしょうか。私には忘れられない言葉があります。小さくても1つ決断をする。その道で懸命にやる。どうしようと迷っていることに意味はない。

決断

その先輩の先生は、上手くいっているかの判断軸は他者との比較ではなく、過去の自分自身だ！と言いたかったのではないかと(勝手に)思っています。この言葉から他者比較ではなく自分自身の成長に集中することができ、とても救われたことをよく覚えています。この言葉は大切に胸にあり、迷った時の糧になってくれます。あと2か月で1年生は先輩に。2年生は最終学年、受験生に。3年生は高校生になります。新年の始めは何かを始めるのにもつてこいです。何をすることが好きか。何に興味があったか。思い出しながら心が躍る道へ決断し、懸命に進む。皆さんの今年の一年が“上手くいく”ことを願っています。昨年、様々な行事や活動を通して、生徒の成長を近くで感じることができました。これもご家族のサポートありきのことと感謝します。本年もどうぞよろしくお願ひします。

学校関係者評価「自由意見」（抜粋）とその回答

学校関係者評価アンケートについて、回答にご協力をいただき感謝申し上げます。自由記述欄には、教職員に対するたくさんの感謝の言葉や慰労等のほか、ご指摘やご意見等をお寄せいただきました。本コーナーでは、すぐにご回答できる意見等（表現一部改）を抜粋し、学校としての状況や見解また方針等について取り急ぎお伝えします。

1. 喜多見中学校の体育館のバスケットのラインを修正してほしい。

→ 体育館におけるバスケットボール用のラインは、ルール変更に伴っても古いままでいました。今回寄せられた声を受け、早速に区と協議をした結果、以下のように工期が決定しました。部活動のない定期考查中の工事となります。地域開放でご利用いただいている団体様にはご不便をかけますことをご了承下さい。また、施設改善の要望については、予算と工期について計画的な準備が必要なことから、ご理解をお願いします。 **工期：2月26日（木）から3月1日（日）** ※この間、体育館の使用はできません。

2. 時々行事日程や振替休日の設定が理解できないことがあります。運動会は雨天延期で翌日曜日決行→月曜日振替休日ではなく、月曜日振替休日→火曜日決行や、土曜日登校の日に振替休日を翌月曜日でなく翌金曜日で三連休と設定される理由が理解できません。

→ 大きな行事である運動会は予め週休日である土曜日に実施を計画し、その振替休日を翌週の月曜日と定めています。この年間計画を当日の雨を理由に変更することは大きな混乱を生むことから、当初計画通りに月曜日を休業日とし、予備日を授業日である火曜日としています。なお、当該週の前後には小学校や幼稚園等で同様の催しがあることから、平日に設定しています。また、土曜授業の振り替えについては、運動会同様に生徒の負担を最優先に考慮しながら、特に当該授業日の前後の週における学校行事等を参考にして振替えの日にちを決定しています。

3. 土曜日登校が基本的になくなり、保護者会などが平日開催になったため、学校に足を運ぶ保護者が少なくなった気がします。学校と生徒家庭の距離が離れてきていることに不安を感じます。相談ごとがあればキチンと話を聞いてくださり一緒に解決に向けて考えてくださり、ありがとうございます。一方で、困りごと・不安なことがあっても相談に行かない生徒さんもいるようで、心配です。昨年・今年の生徒は落ち着きが足りない？行動が幼い子が多く感じます。学力も全体的に落ちている気がするのは気のせいでしょうか？ 授業中の私語の多さ、立ち歩きなど、教えてくださる方への敬意、周囲への気づかいなど「当たり前」のはずのことができない生徒の多さが気になります。

→ 多くの保護者の皆様から『土日以外はどうしても仕事がある…』という声をよく耳にし、心苦しいばかりです。平日開催に伴い、保護者会をはじめ、多くの催し事への参加率は確かに昨年度より低下しています。加えて、PTAの活動に影響が生じています。次年度においても、種々の活動は平日の開催が主体になりますが、内容を一層充実させ有意義な時間となるよう努めますので、極力ご予定について繰り合わせいただき、ご来校願いたいと思っております。

本校の教育相談体制に係る評価では、生徒も保護者も初めて7割を超える肯定意見（相談しやすい）を得ました。各教職員の生徒に寄り添う姿勢が浸透しつつあると自負しています。また、ご指摘いただいた保護者の方を含め、相談を経験して初めて安心感を覚えていただく生徒や保護者の方も少なくありません。今後は、より一層、学校側らか積極的に声をかけたり、特にスクールカウンセラーに相談をした場合にどのような展開になるのか等、周知の充実も図ったりしながら、相談実績の一層の伸長を図ります。なお、本校では、年間計画にある公開週刊以外でもいつでも見学が可能です。お時間のある時に、平素の子どもたちの様子をぜひご覧いただき、ご理解を深めてください。（※参観については、遠慮なく副校長までご相談ください）

4. 喜多見中は実技教科（保育・音楽・美術・技家）に対しての成績の付け方が厳しすぎると、この周辺の塾でも言われるくらいです。影響を受けやすい教科にも関わらず第三者が客観的に見ても、そう言われてしまう理由はなぜでしょうか。

→ 教科を問わず、子どもたちの頑張った結果である評価についてご納得がいただけないことは大きな課題と捉えます。提示された評価評定に疑問がある場合は、各教科担当教員は責任をもってご納得いただけるまで説明をします。こちらも遠慮なくご相談ください。また、こうした声を受け、次年度より評価の付け方についてより一層の理解を得られるように事前の周知を徹底する予定です。既に「喜多見の教育」に掲載している評価対象項目についても、それぞれに比重を%で示したり、項目によっては観点Bの基準について具体的な例を示したりするなどして、生徒はもちろん、保護者の皆さんにとっても透明性が高く、また、評価の最も大切な目的である「今後の取り組み方」により一層資するものとなるよう努めます。

他校との比較について懸念もされていることも残念です。特に3年生については、調査書の内容について特異な分布や学校間での大きなばらつきが生じないよう、毎年教育委員会のもとに審査会（今年度は1月6日実施）が行われており、本校はいずれの教科も標準的な分布であることが確認されています。

2年生 校外学習に行ってきました！ 1月16日 都内巡り

穏やかな好天に恵まれた16日（金）、都内巡りの校外学習に行ってきました。朝からJR山手線の停電による遅延から始まり、波乱のスタートでした。事前にたてた計画がいきなり崩れ、ルート変更を余儀なくされる班があるなど、判断力や行動力を試される都内巡りとなりました。通勤ラッシュに巻き込まれながら、班で協力してルートを回りました。驚いたのは2年生のみなさんの柔軟な判断とトラブルに負けないポジティブさでした。班の中には昼食場所に予約していた食事場所が電車の遅延により開店しないなどのアクシデントに巻き込まれましたが、貸し出しスマホを駆使し、本部と連携を取り、その困難を見事乗り切りました。各所で出会った班はみんな慣れない移動に疲れながらも充実した笑顔を見せ、この行事をやってよかったと思わせてくれる内容でした。

さて、ここからは事後学習です。当日に学習係が撮った写真やパンフレットをもとに東京都を紹介するCMつくりに取り組みます。そのCMは外部の方々や保護者の方々にも見てもらう予定です。ぜひ2年生の表現力の豊かさを発揮してください。そして3年生には修学旅行です。都内よりも慣れない奈良・京都を回りますが、職場体験・都内巡りで培った判断力と行動力があればきっと成功します。ぜひ今後の学校生活ともども有意義なものにしていきましょう。



おめでとう、神田〇〇さん 第16回 世田谷ガリレオコンテスト アイディア賞受賞！！

24日（土）、第16回「世田谷ガリレオコンテスト」研究発表会が梅丘の区教育総合センターにて開催されました。区内各中学校の1,2年生より全2638点の出品があり、一次審査通過は9作品のみ。本校からは、1年生の神田〇〇さんが選ばれ、発表を行いました。自然から絵の具を作るという発想のもと、オシロイバナの花、松やビワの葉など5種類の植物とタマムシやセミの抜け殻の2種の昆虫から色素抽出を試みたその実験研究は、見事、アイディア賞として高く評価されました。代表9名のみが臨める最終審査での発表。なんと喜多見中生の出場は、今年度の神田さんで5年連続の快挙です！

（写真：教育総合センターでの発表の模様と、知久教育長から表彰状を受け取る神田さん）



学校保健委員会の報告 楽しく「目」について学びました！

1月23日（金）、本校体育館にて学校保健委員会を行いました。今年度は、「目」の健康に注目し、（株）イターメディック/Zoffより講師の先生をお招きし、2年生と一緒に勉強をしました。学校保健統計調査（2022年度）によると、裸眼視力が1.0未満の小中学生の割合が過去最多になったとのこと。要因としては、コロナ禍によるデジタルシフトの加速や、スマートフォンやタブレット等のデジタルデバイスへの接触時間の増加等が挙げられています。



目に良いとされる食品や日光を浴びる効果など、眼の健康について学ぶとともに、日ごろから実践できる眼のマッサージの仕方なども楽しく身に付けました（写真）。ご来校いただきました、保護者の皆様にも感謝申し上げます。

2月の予定から

- 2月 2日（月）学校公開（～6日 ※学習成果展覧会）
都立高校推薦入試合格発表
6日（金）**第2回新入生保護者説明会**
漢字検定
18日（水）学び舎の日（小学校の先生方が来校されます！）
19日（木）きたみ人権デー
21日（土）都立一次・分割前期入試（発表3/2）
26日（木）学年末考査（～3月2日 この間給食なし）

第2回新入生保護者説明会

日 時：2月6日（金）14時40分から15時30分まで
会 場：喜多見中学校 体育館
内 容：手続き方法、準備、部活動、保健、給食等について
○「入学前」の教育相談について、ぜひご利用ください！



2月の相談室の開室日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

【担当SC】□：渡邊 ○：高瀬

【場所】相談室は中央校舎1階 保健室の隣です

相談室直通ダイヤル
03-3417-5372